



楽しく学び つながり 活かす 生涯学習



はむらの 教育

小作台小SDGsポスター SDGs 17のゴール

	オリジナル	小作台小バージョン		オリジナル	小作台小バージョン
1	貧困をなくそう	生活にこまる貧しい人をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう	人と人、国と国の間の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	すべての人に十分な食べ物を	11	住み続けられるまちづくり	安全で災害に強くみんなが住みやすいまちを
3	すべての人に健康と福祉を	赤ちゃんからお年寄りまで、みんなに健康な生活を	12	つくる責任つかう責任	つくる人もつかう人も資源をたいせつに
4	質の高い教育をみんなに	世界中の人に、生活をより豊かにする教育を	13	気候変動に具体的な対策を	これ以上地球を暑くしないためにできることをしよう
5	ジェンダー平等を実現しよう	男だから、女だから、という考え方はもうしない	14	海の豊かさを守ろう	ごみのない豊かな川や海にしよう
6	安全な水とトイレを世界中に	安全な飲み水ときれいなトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう	森を守り、自然や生き物を守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	自然に優しいエネルギーをみんなに届け続けよう	16	平和と公正をすべての人に	争いがなく平和で人間らしく生きられる世界に
8	働きがいも経済成長も	やりがいがあり、世界をよりよくしていける仕事を	17	パートナーシップで目標を達成しよう	ひとりでも、えらい人だけでも無理 みんなで協力
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	みんなが使える新しい技術で社会を幸せに			

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

小作台小学校の子どもたちと先生が SDGs(持続可能な開発目標)について一緒に考え作成したポスターです。自分たちの言葉に置き換えたことで、子どもたちは SDGs を身近に感じられるようになりました。

No.90

令和4年(2022)
3月1日発行

羽村市教育委員会研究指定校について

教育委員会では、『学校が主体的に教育上の課題を取り上げ、研究することで、羽村市における教育の発展に資すること』を目的として、羽村市教育委員会研究指定校事業を実施しています。

この事業は、毎年度、市内小・中学校から2校を選定し、2年間における研究として取り組んでおり、令和3年度は、小作台小学校(第2年次)と武蔵野小学校(第1年次)が研究しています。そこで、今回は小作台小学校における2年間の研究の成果について、ご紹介します。



▲ SDGs の視点に立った授業の様子

令和3年度羽村市教育委員会研究指定校

《小作台小学校(第2年次)》

テーマ：持続可能な社会の創り手となるための資質・能力の育成
～ SDGs の視点に立った学習活動
(人権・平和、環境、国際理解)～

《武蔵野小学校(第1年次)》

テーマ：自ら学びを獲得・調整していく児童の育成
～ GIGA スクール構想のよりよい在り方を目指して～

研究テーマについて

令和2年度から全面実施となった小学校学習指導要領では、「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられ、各教科等においても「持続可能な社会の創り手」に関連する内容が盛り込まれました。

また、学習指導要領には、学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントに努めることや、社会の中で生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱が立てられるなど、国際社会において共通認識とされている「持続可能な社会を担う人材の育成」と「社会全体でのSDGsに向けた取組み」についての学校教育の役割が問われています。

そこで、小作台小学校では「持続可能な社会の創り手となるための資質・能力の育成」をテーマとして、令和2・3年度で研究を進めました。

研究の取組み

◆学習指導案の中に、「単元・題材で関わる持続可能な社会づくりの構成概念」、「単元・題材の学習指導で重視する能力・態度」、「単元・題材で留意した3つのつながり」を取り入れることで、学習指導において「持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力」の明確化を図りました。

※単元・題材：学習過程における学習活動の一連のまとめ

◆教科等指導を軸に、児童にSDGsとの関連性に気付かせ、SDGsについて知るきっかけ作りとして、自分たちでSDGsについて調べたり、行動したりする基盤づくりを行いました。

◆教科等横断的な指導で、より充実した学習活動となるよう、各学年におけるSDGsに関わりが深い単元を見付け、学習内容を関連付けて指導できるよう連携を図りました。

◆学校教育におけるSDGsを浸透させるための活動として、講話や委員会活動(エコキャップ運動、SDGsクイズの放送など)、校内ポスターの掲示などを実施しました。



研究の成果と課題

児童がSDGsの視点をもって学習や生活をすることで、「持続可能な社会づくりの構成概念」に関する意識を高めることができました。特に各教科等の単元や題材の特徴に合わせて「持続可能な社会づくりの構成概念」を明確にしたことで、「持続可能な社会の創り手となるための資質・能力」を育成することができました。

今後は、地域の問題に気付き、自らが行動していく力に焦点を当てて、さらに自分から具体的な行動が起こせるような児童の育成に取り組んでまいります。

SDGs17のゴール			
目標のイメージ	目標のパーフェクト	目標のイメージ	目標のパーフェクト
1	貧困をなくそう	1	人々の平等を
2	飢餓をなくそう	2	人々と、国と国との
3	すべての人に	3	質の高い教育を
4	すべての人に	4	質の高い教育を
5	ジェンダー平等	5	気候変動に
6	清潔な水と	6	海の豊かさ
7	エネルギー	7	陸の豊かさを
8	働きがいと	8	持続可能な
9	産業と	9	平和と
10	人や国	10	平和と
11	住み続け	11	平和と
12	持続可能な	12	平和と
13	気候変動に	13	平和と
14	海の豊かさ	14	平和と
15	陸の豊かさを	15	平和と
16	平和と	16	平和と
17	パートナー	17	平和と



【問合せ】 学校教育課指導係 (内線376)

生涯学習センターゆとろぎからのお知らせ

ゆとろぎでは、映画上映会やコンサート、展示など、どんなでも気軽に参加できる様々な事業を実施しています。

ゆとろぎ美術園 「ムサビ芸文アートの日常実験室」

第2回企画

「Expo2022 はむら万博ー大阪万博から見る今昔と羽村、そして未来へー」

武蔵野美術大学と連携した常設展示企画が始まりました。2021年11月から開始した展示に続き、第2回目の企画では、展示が新しいコミュニケーションツールであるという社会的な認識が生まれるきっかけとなった1970年の大阪万博(日本万国博覧会)を考察し、羽村市の日常との繋がりを研究した成果物を展示しています。

ゆとろぎ美術園では、年に数回、異なるテーマで作品を入れ替えながら、いつでもゆとろぎで芸術文化やアートを楽しめる空間を提供していきます。ぜひご来館ください。

期間 3月30日(水)まで

会場 ゆとろぎ館内各所(メインスペース・大ホール2階客席ホワイエ)

観覧 無料

協力 武蔵野美術大学

芸術文化学科

春原ゼミナール

3年



子ども映画会

毎月1回16ミリ映写機で日本昔話やディズニー等の短編アニメを上映しています。お子様と一緒に映写機のカタカタと回る音を聞きながら上映をお楽しみください。

【運営・羽村映画クラブ(偶数月)、はむら16ミリ映像研究会(奇数月)】

次回、上映会のお知らせ

日時 3月13日(日)午前10時30分〜11時30分

会場 ゆとろぎ地下1階小ホール

定員 252名(先着順)

入場料 無料(直接会場へ)

上映作品 ミッキーマウスのゆかいな船長さん／転失気(アニメ落語館)／ジャングル大帝 共存



▲16ミリ映写機



▲上映会の様子



▲はむら16ミリ映像研究会



▲羽村映画クラブ

子ども映画会 スタッフ募集中!

子どもと関わることが好きな方、映写機に興味のある方(操作資格のない方も可)等を募集しています。申込みはゆとろぎへ電話または直接窓口へお越しください。

【問合せ】生涯学習センターゆとろぎ ☎570-0707

図書館からのお知らせ

★図書館の視聴覚資料について

図書館では図書だけでなく、CDやDVD等の視聴覚資料も借りることができます。国内や世界的に評価の高い作品(主要な賞を受賞しているもの等)や羽村市に關係する作品を主に所蔵しています。視聴覚資料は、DVD・ビデオテープが合わせて2点まで、CD・カセットテープが合わせて2点まで借りることができません。本と比べると数は少ないですが、本館1階の視聴覚資料コーナーにありますので、ご興味ある方はぜひ借りに来ててください。



▲ CD コーナーの様子



▲ DVD コーナーの様子

★市制施行30周年記念

「シリーズ 読んで学ぶ羽村市⑤」

図書館で所蔵している羽村市関連の資料を紹介いたします。第五回となったこのコーナーも今回で最後となります。今までの回は羽村市関連の本を紹介してきました。今回はタイトルの「読んで学ぶ」とは少し外れますが、テレビはむらについて紹介します。

図書館では、テレビはむら第一回の放送回から現在まで、全てを所蔵しています。ところで、テレビはむらの第一回が放送されたのはいつかご存じですか。正解は今から約29年前の平成5年10月1日です。29年前といえば、市制施行からまだ間もないころです。

テレビはむらは羽村市の移り変わりを、動画という形で残した貴重な資料です。皆さんも本を読むのとは違う形で、羽村市についての知識を深めてみてはいかがでしょうか。



▲開局当時のテレビはむら

【問合せ】

図書館

☎ 5544-2280

郷土博物館からのお知らせ

学校との学びの連携

郷土博物館では、毎年一月に企画展「むかしのくらし」を開催しています。昭和期の生活用具を展示し、身近な道具の変化を通じてくらしの変化を学ぶことがテーマです。この展示は、市内の小学校三年生の郷土学習にあわせた企画でもあり、児童の学習の習熟度を高めるために活用しています。

三年生の団体見学時は、「むかしのくらし」の展示説明のほか、旧下田家住宅の中に入って、昔のくらしを体験的に学習したり、常設展示室の養蚕関係用具のコーナーで、近代羽村の主要産業であった養蚕の解説も行うりしています。

来館した子ども達からは、「この道具、おばあちゃんの家で見たことあるー」「今の道具とここが違うー」等の元気な声盛んに上がり、後日「家族と一緒に再び来館してくれる児童もいます。」

小学校四年生では、社会科に「郷土の発展につくす」という単

元があります。この中の題材のひとつに、「玉川兄弟と玉川上水」が取り上げられているため、羽村市内の小学校だけでなく、東京都内各地の小学校から社会科学見学に来ていただいています。

今年度は、上半期こそコロナ禍の影響で小学校の団体見学が少なかったものの、下半期には館としてできる限りの感染対策をとり、多くの小学校にご来館いただきました。

これからも、展示や事業を通して学校と連携し、学習の支援や新たな学びのきっかけとなることができるよう、取り組んでいきます。



▲企画展「むかしのくらし」の様子

【問合せ】

郷土博物館

☎ 5581-2561

中学校部活動の活躍について

中学校の部活動は、生徒同士や生徒と教員等との交流の中で、生徒の多様な学びの場として、生徒の成長につながっています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、

各校における部活動に制限がある中ではありましたが、今年度、運動部、文化部ともに、優秀な成績を収めた部活動について、主なものを紹介します。

【主な成績】

●羽村第一中学校

部活動名	大会名等	出場者
陸上部	第36回東日本女子駅伝競走大会 東京都代表選手選出	熊倉 花萌
	第74回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会 女子共通1500m(第3位)	
水泳部	第45回関東中学校水泳競技大会 200m バタフライ	熊木 羽妃
男子バレー部	第65回東京都中学校バレーボール新人大会 第5位(ベスト8)	男子バレー部
吹奏楽部	第69回全日本吹奏楽コンクール 銀賞	吹奏楽部
	第61回東京都吹奏楽コンクール 金賞	
	第55回東京都中学校アンサンブルコンテスト 金賞	
	第45回東京都アンサンブルコンテスト金賞 東京都代表 全国大会出場決定	

●羽村第二中学校

部活動名	大会名等	出場者
卓球部	第49回関東中学校卓球大会 団体戦	卓球部(女子8名)
剣道部	第46回関東中学校剣道大会 団体戦	剣道部(男子7名)
	第60回東京都中学校総合体育大会剣道大会(第5位)	
吹奏楽部	第61回東京都中学校吹奏楽コンクール 東日本部門 銀賞	吹奏楽部

●羽村第三中学校

部活動名	大会名等	出場者
ソフトテニス部	第51回関東中学校ソフトテニス大会 男子個人戦	吉野 僚真 今井 瞭
	第60回東京都中学総合体育大会 ソフトテニス 男子個人戦	
	第60回東京都中学総合体育大会 ソフトテニス 男子団体戦(第3位)	ソフトテニス部 (男子6名)
	第51回関東中学校ソフトテニス大会 女子団体戦	ソフトテニス部 (女子8名)
第60回東京都中学総合体育大会 ソフトテニス 女子団体戦(第3位)		
吹奏楽部	第59回東京都中学校吹奏楽コンクール 東日本部門 金賞	吹奏楽部
	第55回東京都中学校アンサンブルコンテスト 銀賞	

※敬称略

【問合せ】 学校教育課指導係(内線376)

市内小学校に
書画カメラが寄贈されました

青梅法人会から、市内小学校に書画カメラ10台が寄贈されました。学校のICT機器を活用した教育に今後役立てていきます。



書画カメラ

手元にあるプリント資料や、模型などを撮影することで、プロジェクターなどの大きな画面に表示し、共有することができます。

【問合せ】 学校教育課学務係(内線356)

1人1台端末を活用した授業について

令和3年4月からスタートした1人1台端末を活用した実践事例(授業)について紹介します。また、教育委員会では、これらの取組みを各校で共有し、市内の学校におけるICT機器の活用が更に促進されるよう努めています。



《羽村第二中学校 外国語科 (英語)》
羽村第二中学校では、英語の授業において、外国語指導助手(ALT)との会話を録画することで、教室に戻ってから自分のスピーチを自己評価し、課題を自ら捉え、自己練習するよう取り組んでいます。自らの分析に1人1台端末を効果的に使用している、「生徒」を主語とした授業に取り組んでいます。

《学校評価(保護者アンケート)》

令和3年度の学校評価からGoogle Formを活用した保護者アンケートを開始しました(Google Formのみ4校/紙とGoogle Form併用2校)。今後も学校にDX(デジタルトランスフォーメーション)をどう生かしていくか、教育委員会でも積極的な活用に向けて、研究してまいります。



《富士見小学校 体育》
富士見小学校では、体育の授業において、グループ毎でのダンス練習の様子を録画することで、その後の練習で活用できるよう取り組んでいます。さらに、見学している児童が各グループを回り、練習風景を撮影するなど、クラス全体における協働的な学びが展開されています。

《松林小学校 音楽》

松林小学校では、コロナ禍で保護者が学校に来られる行事が少ない中、音楽発表会と作品展を同時に行う「松林フェスタ」を開催し、体育館では各学年の音楽発表会の様子が放映されました。様々な制限があっても、今できる工夫を精一杯考え、安全かつ子どもたちのモチベーションを高めたいこうとする取組みとなっています。



《保護者の皆さんへ》

1人1台端末を含め、携帯電話等の通信機器の活用には、健康面や個人情報の取扱い、ネット上でのトラブルなどに配慮する必要があります。学校ではSNS等を適切に活用するための情報モラル教育を実施しています。お子さんがお持ちのゲーム機にも通信機能がある機種がありますので、今一度、ご家庭でお子さんと一緒に考えた上で、使用させるようご協力をお願いいたします。

【問合せ】 学校教育課指導係 (内線376)

教育随想

勤務先の近くの九段北に一口坂という名の坂道があります。正式には「いもあらいざか」と読み、東京都内には同じ名の坂道が駿河台と六本木にもあります。「いも」は天然痘を意味する疱瘡(いもがさ)から付けられており、一口坂は「いもがさ」を洗い流して治癒を祈る水もしくはお社が坂の下にあったのではないかと言われています。しかし、残念ながら現在では何の痕跡もなく、「いもあらい」の名前だけが残っています。駿河台には「いもあらい稲荷神社」があり、太田道灌が京都にある「一口稲荷神社」に娘さんの天然痘の治癒を祈願し成就されたことから勧請した、との言い伝えがあります。天然痘は天然痘ウイルスによる感染症で、感染の広がりや早く致死率の高い病気であり、日本でも第二次世界大戦直後まで度々流行していました。種痘の普及により、日本では1956年以降発生は無く、1980年にはWHO(世界保健機構)が天然痘の根絶を宣言しています。現在では自然界から天然痘ウイルスが駆逐され、私たちは天然痘の恐怖から免れることができます。

現代医学の知恵と技術をもってしても、新型コロナウイルス感染症はなかなか収束しない状況です。2年以上に渡るコロナ禍の生活で、大人も子どもも辟易(ひきやく)としています。ただし、歴史的に見て天然痘であっても3年程で収束していったようです。もうあと一息で、普段の生活に戻ることが出来るのではないかと期待しています。



教育委員会委員 羽村 章

学校で活躍するボランティア団体!!

『生ごみ堆肥化めぐみネット・羽村』

「生ごみ堆肥化めぐみネット・羽村」は、家庭などで出る生ごみを燃やさず堆肥にして、ごみ減量に貢献しながら自然環境を生かし野菜を育てたり、その普及活動を行ったりしている市内の市民活動団体です。

主な普及活動として、市民講座や小中学校への出前講座、学校農園支援なども行っています。

今回は市内の松林小学校での活動を紹介します。

学級園の植物や野菜の手入れ

普段は週に1度のペースで松林小学校へ訪れ、野菜や花などを栽培し、学級園が充実したものになるよう、支援しています。授業をとおして、子どもたちと一緒に育てた野菜の収穫を行っており、子どもたちにとって貴重な体験となっています。



▶1年生と一緒に育てた大根を収穫する様子

堆肥づくり授業の実施

昨年の秋に5年生を対象に生ごみ堆肥化の授業を行いました。この授業では、野菜くずなどの生ごみを土と混ぜ、発酵させることによって栄養のある土ができることを、野菜づくりをしながら観察・体験しています。

子どもたちには土と親しんで育てることの大切さや、生ごみを再利用することで環境について考えてほしいという思いがあり、学校と連携して行っています。



▲土づくりの様子

【問合せ】生涯学習総務課総務係（内線354）

羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、文化を推進していくための団体です。

羽村市文化協会

TEL 579-12772

日頃より文化協会活動にご協力ご支援ありがとうございます。

日ごとに春めいてまいりましたが、令和3年度も残念ながらコロナ禍に明け暮れ、前半の総会、美術工芸展の中止、延期、また文化祭が中止となりました。今春はゆとろぎでお正月を遊ぶの一環として「邦楽サロンコンサート」は琴、詩吟、書道吟、玉すだれ、かっぱれと賑やかに催され市民の方に喜んで頂きました。今年こそはコロナが収束して「羽村の文化」のすそ野を広げ、「循環型生涯学習」「人々の交流」の推進を図ってまいりたいと思います。

■第二回芸能まつり

日付 4月16日(土) 会場 ゆとろぎ小ホール

■文化協会総会

日付 5月28日(土) 会場 ゆとろぎ小ホール

■第89回ゆとろぎサロンコンサート

日付 5月28日(土) 出演 森の音楽家「ピアノトリオ」

■第90回ゆとろぎサロンコンサート

日付 6月11日(土) 出演 パークッション「今福健司」

■第16回美術・工芸展

会場 ゆとろぎ小ホール

日付 5月〜6月5期間 内容 絵画、写真、書道、陶芸など

■第14回はむら音楽祭「らららミュージカル」

会場 ゆとろぎ展示室

■第53回羽村市文化祭

日付 6月26日(日) 会場 ゆとろぎ大ホール

■第53回羽村市文化祭

日付 10月7日(金)〜11月3日(木)予定 会場 ゆとろぎ

INFORMATION

羽村市役所（代表）Tel 555-1111

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室	Tel 554-1331